

# 潮の香りを感じながら 海岸コースを快走

## 第24回

## 美浜・五木ひろしまマラソン

⑤ 月13日に、当町出身で名誉町民の五木ひろしさんを招いて、

第24回美浜・五木ひろしまマラソンが丹生特設会場から佐田までの海岸線コース（日本陸連公認）で開催されました。

大会には、県内外から4,807人のランナーが参加。過去4番目に多い参加者数となり、全16部門で競技が行われました。参加ランナーは、五月晴れのもと潮風を肌で感じながら、風光明媚な海岸コースで健脚を競いました。

また、今大会では、特別企画として、5kmと10kmの部に出場した夫婦の合計タイムを競う「夫婦の部特別表彰」

を実施。92組の夫婦が参加し、仲睦まじくマラソンを楽しむ姿が見られました。

開会式では、大会の主役である五木さんが、観客の大声援を受けて登場し、「自然美しい私の故郷で、今日一日、楽しい思い出を作ってください。」と挨拶。式後始まった競技ではスターターを務めたほか、ミニコンサートを開く等して、大会を盛り上げました。

ゲストランナーとして、松野明美さん（ソウルオリンピック女子一万m出場）も参加。10km・一般女子の部に出場し、沿道からの声援に笑顔で応え、時には観客とハイタッチをし

ながら、選手時代の走りを披露しました。

美浜・五木ひろしまマラソンでは、毎年参加ランナーに、参加賞として大会記念Tシャツを渡していますが、今年はタオルもあわせて作製しました。タオルには、東日本震災での被災地の早期復興をみんなで祈念しようという思いを込め、「Let's unite everyone」（みんなでつながろうの意味）のロゴが入っています。また、会場には、昨年に続き被災地への募金箱を設置し、来場者から多くのご協力をいただきました。



被災地の早期復興を祈念して「Let's unite as one！」



3km 折り返し地点前。坂を下るとランナーの右手に青い海が広がる。

### 記録 (敬称略)

部門	出走者数 (人)	優勝者	タイム (時・分・秒)
20km一般男子	842	山口 信之 (滋賀県)	1:11:08
20km一般女子	94	村田 祥江 (三重県)	1:22:32
10km一般男子	1,145	網谷 敏宏 (美浜町)	0:33:20
10km一般女子	241	長坂 恵子 (愛知県)	0:38:17
5km29歳以下男子	302	林 優 (和歌山県)	0:16:51
5km30歳代男子	287	高杉 泰範 (岡山県)	0:17:05
5km40歳以上男子	526	小野寺 毅 (兵庫県)	0:17:16
5km29歳以下女子	75	鈴木 美波 (小浜市)	0:22:21
5km30歳以上女子	164	羽根田陽子 (三重県)	0:19:56
3km50歳以上男子	168	武田 清美 (兵庫県)	0:10:02
3km一般女子	175	西倉佳代子 (小浜市)	0:11:44
3km中学生男子	80	並松 翔 (兵庫県)	0:10:27
3km中学生女子	93	佐々木絢叶 (敦賀市)	0:11:17
1.5km小学生男子	66	大同 健心 (美浜町)	0:05:17
1.5km小学生女子	47	佐々木唯那 (敦賀市)	0:05:35
1.5km親子	502	(251組)	



五木さんの号砲で競技がスタート



ゲストランナー・松野明美さん

# 美浜が沸いた一日

# スタート



10kmの部スタート直後。号砲とともに、約1,400人のランナーが一斉に飛び出した。



給水所で水分補給（竹波給水所）



コースに設置された散水シャワー。ランナーが「涼」を感じる一時



上り坂でも何のその。親子で快走中♪



20km 折り返し地点（佐田三叉路付近）を通過するランナーの列



特設会場ゴール。お疲れ様でした。



入賞おめでとうございます。



和気あいあい、特設会場・湯茶接待所



大会参加の思い出に、へしこちゃんと記念撮影

▷ 1.5km 小学生男子の部で優勝



大同 健心さん  
(弥美小学校6年)

昨年、2位と悔しい思いをしましたが、今年は1位をとることができ、とても嬉しいです。タイムでは狙っていた4分台を出すことができませでしたが、優勝できてよかったです。

美浜町は昔働いていたこともあり、思い入れの深い場所です。大会には17回目の参加で、80歳までは走り続けたいと思っています。今年も、お土産に「へしこ」を買って帰りますよ。

▷ 76歳の高齢ランナー



時枝 正武さん(大阪府)

ランナーの皆さんにインタビューしました

▷ 夫婦の部特別表彰(5km)で1位



左・国ノ十 紀子さん(愛知県)  
右・国ノ十 英考さん(同上)

各部門では、2人とももう少しというところでした。夫婦初参加で、このような賞を受賞でき、とても嬉しく思っています。アップダウンのある走り甲斐のあるコースですね。

コースにアップダウンがあり、他の大会より疲れましたが、景色がきれいで潮風が気持ちよかったです。昨年は3kmに出場し、今年は10kmに挑戦。一年間の練習の甲斐あり、完走できてよかったです。

▷ 姉妹で10kmに挑戦



左・川尻 里美さん(京都府)  
右・西村 博子さん(京都府)



大会前に行われたコースの清掃



駐車場での誘導



ランナーの強い味方・給水所



ごみ回収

県内外から多くのランナーや観客が集まるこの大会は、さまざまな場所で活躍するたくさんの方のボランティアスタッフによって支えられています。今大会でも、約600人のスタッフがそれぞれの持ち場で役割を果たし、大会を支えてくれました。

大会スタッフの皆さん  
ありがとうございました



# 五木ひろしふるさとコンサート



マラソン大会前日の5月12日に、「五木ひろしふるさとコンサート」が総合体育館で開催され、県内外から約1,100人の観客が来場しました。

五木さんは新曲の「夜明けのブルース」をはじめ、「ふるさと」や「よこはままたそがれ」等の数々のヒット曲を熱唱し、観客を魅了しました。

コンサートには、五木さんのほかに、歌手の南かなこさんも



登場。2人で「ふたつ星」をデュエットする等、会場を沸かせました。

また、歌の合間には、町を代表して美浜ジュニアリーダーズクラブから、五木さんと南さんに花束が贈呈されました。



## ▷美浜ジュニアリーダーズクラブ



左・宇都宮 魁人さん  
中・山口 真弥さん  
右・四ツ谷 侑芽さん

7時頃から車が入り始め、30分程で満車になりました。車のナンバーは福井のほかに、滋賀や京都等の関西圏が多かったです。同じ区のベテランメンバーと協力して、スムーズな誘導ができました。

.....

車いすの方の伴走やランナーズチップの回収、会場内のごみ回収等の仕事をしました。疲れたけれど、人の役に立ててよかったです。「ありがとう」とお礼を言われたことが嬉しかったですね。

## ▷特設会場・駐車場



後藤 敏広さん(佐田)

## スタッフの皆さんにインタビューしました

### ▷北田口救護所・若狭医療福祉専門学校の皆さん



左・新野 智貴さん(学生)  
中・山本 桂士さん(教員)  
右・地村 美奈代さん(学生)

「頑張ってください」と声をかけながら、参加ランナーに記念Tシャツを渡しました。Tシャツを着て走る人は全員完走してほしいと思います。この大会は参加者が多く、美浜が賑わうのでよいですね。

.....

足をつったランナーの処置等を行い、現場での対処方法を学生に見せることができてよかったです。大会は、町内の学校として、地元のイベントに協力できるよい機会になっていると思います。

### ▷Tシャツ交換所



木村 俊夫さん(郷市)